

# 2027年度 大学院入試 募集要項

工学研究科博士前期課程

工学研究科博士後期課程

一般入試(学外1期・2期)



やりたいことを、できることに。

湘南工科大学

SHONAN INSTITUTE OF TECHNOLOGY

## 目 次

工学研究科博士前期課程の基本ポリシー	1
I. 工学研究科博士前期課程	2
教育研究課程	8
● 共通科目	8
● 機械工学専攻	9
● 電気情報工学専攻	10
● 授業科目および単位数	11
工学研究科博士後期課程の基本ポリシー	12
II. 工学研究科博士後期課程	13
教育研究課程	19
● 共通科目	19
● 機械工学専攻	20
● 電気情報工学専攻	21
● 授業科目および単位数	24
ACCESS	巻末

### **個人情報の取り扱いについて**

本学に提出された志願票等の個人情報に関しては、本人の同意がある場合または法令に基づく場合を除き、第三者（「業務委託先」を除く）への情報提供を一切行いません。

# 工学研究科博士前期課程の基本ポリシー

## ●ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

以下に掲げる大学院博士前期課程修了生としての能力を身につけたと判断される者に、修士（工学）の学位を授与する。

1. 専門分野において必要とされる知識を有し、それを応用し実践する能力。
2. 専門分野における課題を把握し、解決方法を自ら見出す能力。
3. 社会において必要とされる教養や知識を活用し、自ら行動する能力。
4. 協調性と多面的な視野をもって、計画的に研究開発を遂行する能力。
5. 研究成果の発表やまとめなどにおける論理的な記述力とコミュニケーション能力。

上記の能力は、以下を達成したときに、身につけたものと判断する。

- a. カリキュラムにおける所定の単位を修得していること。
- b. 研究成果について、少なくとも1編の学術論文の学外発表もしくは公表を行っていること、または少なくとも1回の学外公開作品展示を行っていること。
- c. 修士論文を提出・発表し、審査の結果、合格と判定されていること。

## ●カリキュラム・ポリシー（教育課程の方針）

ディプロマ・ポリシーに定める諸能力を育成するために、以下の方針でカリキュラムを編成する。

1. 幅広い授業科目を準備し、専門分野における十分な基礎知識と高度知識を教授するとともに、社会的教養や知識を活用できる能力を育成する。
2. 個別指導の下、専門分野における課題を発見させ、解決方法を自ら見出させ、計画的に研究開発を遂行させる。
3. 研究開発の成果と知見を論理的に記述した修士論文をまとめ、その内容を学外発表または公表できるように、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけさせる。

## ●アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

以下に掲げる大学院博士前期課程入学生としての条件を満たす者を受け入れる。

1. 社会において必要な教養や知識を有する者。
2. 志望する専門分野における基礎的な学力を有する者。
3. 志望する専門分野を勉学し、社会に役立つ研究開発を通して、実践的能力を備えた専門技術者・研究者となることに情熱を持つ者。

# I. 2027年度 大学院入試 工学研究科博士前期課程

## (一般入試・社会人特別入試・外国人留学生入試)

◎各選抜について、「4 選抜方法 (▶ P. 3)」以外はすべて共通となります。

### 1 専攻および募集人員

研究科名	課程	専攻名	募集人員
工学研究科	博士前期課程	機械工学専攻 電気情報工学専攻	若干名

### 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者
2. 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者および2027年3月までに授与見込みの者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育を日本国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者
5. 日本国において、外国の大学相当として文部科学大臣が指定した外国の学校の課程を修了した者および2027年3月までに修了見込みの者
6. 外国の大学等において、修行年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および2027年3月までに授与見込みの者
7. 文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を修了した者および2027年3月修了見込みの者
8. 文部科学大臣が指定した者
9. 本大学院において、個別の入学資格審査により認められた22歳以上の者

#### 出願資格9について

出願資格9での出願を希望する者は、別途、認定審査を行います。

出願資格認定申請書 [認定-1] [認定-2] を、指導教員面談申込期間内に指導教員面談申込書等とともに提出してください (提出書類については、「5 指導教員面談申し込みについて (▶ P. 3)」を参照)。

本大学院において、書類審査の上、認定しますが、必要に応じて口頭試問を行う場合があります。

#### 職業を有する者について

職業を有する者で、入学後も在職する場合は、課程修了まで出向、休職またはそれに準じた取り扱いにより、勤務先からの派遣が可能である者に限ります。

### 3 入試日程

	指導教員面談申込期間 (消印有効)	指導教員面談 実施期間	出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日
1期	2026年 6月 22日(月) ～ 7月 10日(金)	2026年 7月13日(月) ～ 7月17日(金)	2026年 7月20日(月) ～ 7月24日(金)	2026年 9月 5日(土)	2026年 9月 9日(水)
2期	2026年11月 9日(月) ～ 11月27日(金)	2026年11月30日(月) ～12月 4日(金)	2026年12月 7日(月) ～12月11日(金)	2026年12月19日(土)	2026年12月23日(水)

※指導教員面談は必ずしも希望の日時で実施できるとは限りません。日程には余裕を持って申し込みをしてください。

## 4 選抜方法

- 一般入試：書類審査と筆記試験・小論文および面接（プレゼンテーション含む）の評価を総合して選抜します。
- 社会人特別入試：書類審査と筆記試験・小論文および面接（プレゼンテーション・これまで社会で培ってきた社会性と社会人基礎力等についての口頭試問含む）の評価を総合して選抜します。
- 外国人留学生入試：書類審査と筆記試験・小論文および面接（プレゼンテーション・日本語能力についての口頭試問含む）の評価を総合して選抜します。

筆記試験	数学および英語 数学の出題範囲 新版 線形代数 改訂版 岡本和夫監修 実教出版 1章～3章 新版 微分積分 改訂版 岡本和夫監修 実教出版 1章～5章 英語の問題の1つは 「卒業研究または大学院で行う予定の研究の内容について100word程度の英文で説明せよ」
小論文	科学、技術、工学に関連するテーマを専攻別に出題（800字程度）
面接 （プレゼンテーション含む）	<b>PowerPointを使用して行うこと。</b> PowerPointにて10分程度、志望理由書の内容（志望動機、卒業研究の内容、研究計画・抱負）を詳しく説明。その後、20分程度の質疑応答を行います。

## 5 指導教員面談申し込みについて

志願者が希望する研究内容の受け入れ可否を確認するため、受入指導教員との事前面談が必要です。  
 事前面談の結果、受け入れ可能と判断された者のみが出願できます（あくまで出願許可であり、合格を約束し受け入れたものではありません）。  
 指導教員面談申込期間内に下記の提出書類を市販の角2封筒に封入し、郵便局窓口から簡易書留速達で郵送してください（消印有効）。  
 面談日が決定次第、入試課から連絡します（希望に添えない場合がありますので、予めご了承ください）。

### 提出書類

証明書などの発行日は、申し込みの6か月以内の発行のものに限ります。  
 所定の用紙については、「7 提出書類のダウンロードについて（▶ P.5）」を参照してください。

指導教員面談申込書	本学所定の用紙 <a href="#">面談-1</a>
卒業論文・修士論文の論要	本学所定の用紙 <a href="#">面談-2</a> ただし、出願資格9での出願を希望する者は提出不要です。
卒業（見込み）証明書	出身大学等が発行し、厳封したもの。または、大学評価・学位授与機構が作成した学位授与証明書（申請予定者は在籍する教育機関の長の学位授与申請予定証明書）。ただし、出願資格9での出願を希望する者は提出不要です。
成績証明書	出身大学等が発行し、厳封したもの。 ただし、出願資格9での出願を希望する者は提出不要です。
出願資格認定申請書	本学所定の用紙 <a href="#">認定-1</a> <a href="#">認定-2</a> 出願資格9での出願を希望する者のみ提出してください。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本語または英語以外で作成されたものは、必ず公的機関または日本語学校等が証明する日本語訳か英語訳を添付してください。それ以外の者が翻訳する場合は、住所・氏名・本人との関係を記入し、押印して提出してください。本人による翻訳は出願書類として認めません。</li> <li>● 提出書類に不備がある場合は受付けません。また、提出書類は一切返却しません。</li> </ul>
宛名シート	必要事項を記入の上、角2封筒に貼り付けてください。

受入指導教員との事前面談後、出願の可否を記した「出願資格認定通知書」を本学から発行・郵送します。  
 「出願資格認定通知書（提出用）」は出願に必要となります。出願書類については、「6 出願書類（▶ P.4）」を参照してください。

## 6 出願書類

所定の用紙については、「7. 出願書類のダウンロードについて（▶ P.5）」を参照してください。

1	受験票	本学所定の用紙 <b>A票</b> 検定料収納印のないものは受けません。
2	写真票	本学所定の用紙 <b>B票</b> 検定料収納印のないものは受けません。
3	志願票	本学所定の用紙 <b>D-票</b> （ <b>D-票(2)</b> は外国人留学生のみ）
4	写真（2枚）	縦4cm、横3cm、上半身正面脱帽、背景なしで、出願の3カ月以内に撮影したものを <b>写真票</b> および <b>志願票</b> に貼り付けてください（裏面に氏名記入のこと。シール状の場合は記入不要）。
5	出願資格認定 通知書（提出用）	指導教員との面談後に本学が発行・郵送した書類。
6	志望理由書	本学所定の用紙 <b>E票(1)</b> <b>E票(2)</b> 志望動機、卒業研究の内容、研究計画・抱負を自筆で各300字以内にまとめたもの。 外国人留学生の場合は、日本へ留学を志した動機等も含む（日本語で記入のこと）。
7	入学志願者所見	本学所定の用紙 <b>F票</b> 出身大学等の指導教員または学部長が作成し、厳封したもの。 ただし、出願資格9に該当する者は別途案内します。
8	出願同意書	本学所定の用紙 <b>G票</b> 職業を有する者で、入学後も在職する場合は提出してください。
9	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>現在、他の大学院に在籍中の者は、受験許可書を提出してください。</u></li> <li>● <u>外国人留学生は下記の書類も提出してください。</u> <ol style="list-style-type: none"> <li>①出願の6カ月以内に、市区町村が発行した住民票（「国籍」「在留資格」「在留期間等」「在留カード等の番号」「在留期間の満了の日」が記載されている原本）。なお、「個人番号（マイナンバー）」は不要です。</li> <li>②現在、日本国内の教育機関（日本語学校や専門学校等）に在籍している者は、その教育機関の成績証明書および出席状況証明書。在籍していない者は、<u>出願前に必ず入試課まで連絡してください。</u>（在留資格が「永住者」「定住者」「家族滞在」は除く）</li> <li>③日本語能力が証明できる書類（日本語能力試験の結果等）は任意です。</li> </ol> </li> <li>● <u>日本語または英語以外で作成されたものは、必ず公的機関または日本語学校等が証明する日本語訳か英語訳を添付してください。</u>それ以外の者が翻訳する場合は、住所・氏名・本人との関係を記入し、押印して提出してください。<u>本人による翻訳は出願書類として認めません。</u></li> <li>● <u>出願時、日本国外に在住の者は出願にあたり、下記の条件が加わります。</u> <ol style="list-style-type: none"> <li>①前期のみ出願可能。</li> <li>②検定料は日本国内からの振り込みのみ有効。</li> <li>③出願時にパスポートのコピー（記載のあるすべてのページ）を提出してください。</li> </ol> </li> </ul>
10	宛名シート	必要事項を記入の上、角2封筒に貼り付けてください。

※卒業（見込み）証明書、成績証明書：指導教員面談申込時に提出済みのため不要です。

## 7 出願書類のダウンロードについて

2027年度大学院入試で使用する提出書類（本学所定の用紙）は下記の方法でダウンロードしてください。

### ◎博士前期課程：一般入試（学外）

本学公式Webサイト > 入試情報 > 大学院入試 > 入試日程／博士前期課程

【URL】 <https://www.shonan-it.ac.jp/examination/graduate-school>

#### 注意事項

- ページの拡大・縮小・両面印刷は行わずに、A4 サイズで印刷してください。
- 所定の用紙は、すべて黒のボールペン（消せるボールペンは不可）で記入してください。
- 間違えた場合は二重線を引いて訂正印を押し、正しい内容を余白に記入してください。修正液、修正テープは使用しないでください。
- その他、各用紙に記載の注意事項をよく読み、間違いのないよう記入してください。

## 8 出願にあたっての注意事項

- 出願書類に不備がある場合は受け付けません。また、出願書類は一切返却しません。
- 出願許可書に記載の志望専攻および指導教員以外への出願はできません。
- 出願書類に虚偽があった場合、合格を取り消すことがあります。
- 出願書類は市販の角2封筒に封入し、必ず郵便局窓口から簡易書留速達で郵送してください。
- 疾病・負傷や身体の障がい等により、受験および修学に際して特別な配慮を必要とする方は、出題2週間前までに必ず入試課へ相談してください。別途「受験上の配慮申請」等の提出が必要となりますので、本学公式Webサイト「受験及び修学上の配慮について」を参照してください。申請内容に基づき、障がいや疾病の程度に応じた措置を講じます。ただし、すべての希望に対応できるとは限りません。

本学公式 Web サイト > 入試情報 > 受験および修学上の配慮について

【URL】 <https://www.shonan-it.ac.jp/examination/faculty/support>

## 9 検定料 30,000 円 ※納入した検定料は理由のいかんを問わず返還しません。

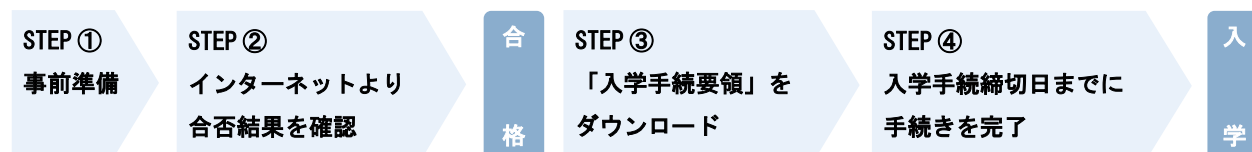
必ず本学所定の写真票 **A票**、振込金受領書 **B票**、振込依頼書 **C票** を使用し、金融機関窓口から振り込んでください（A・B・C票は切り離さず金融機関へ持参してください）。検定料振り込み後、A・B票の「取扱金融機関収納印」欄に収納印が押されていることを確認し、A票を提出してください。B票は本人保存用のため、提出の必要はありません。

## 10 受験について

受験票	<ul style="list-style-type: none"><li>● 出願書類受け付け後、志願者に「受験票」を送付します。</li><li>● 試験前日までに受験票が届かない場合は、必ず入試課に連絡してください。</li><li>● 試験当日は受験票を持参してください。受験票を紛失した場合は、試験開始前に受付に申し出て「仮受験票」の交付を受けてください。</li><li>● 受験票は合格発表等で必要となる場合がありますので、大切に保管してください。</li></ul>
試験時間	<ul style="list-style-type: none"><li>● 筆記試験／9:00～11:00</li><li>● 小論文／11:20～12:20</li><li>● 面接／13:00～（30分程度）</li></ul>
試験会場 (集合時間)	湘南工科大学 <ul style="list-style-type: none"><li>● 筆記試験：8:30 までに試験会場に集合してください。</li><li>● 面接試験：12:50 までに面接控室に集合してください。</li></ul> ※ 会場については、試験当日、正門の掲示を確認してください。
持参する物	<ul style="list-style-type: none"><li>● 受験票、プレゼンテーション時に使用するノートパソコンおよび PowerPoint のデータ</li></ul> ※ プレゼンテーションは自身のノートパソコンを使用してください。やむを得ず用意ができない場合は出願時に入試課まで申し出てください。試験当日はPowerPointのデータが入ったUSBメモリーを持参してください。プロジェクター、スクリーン、ケーブル（HDMI端子）は本学で用意します。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"><li>● 筆記試験では、筆記用具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム）、時計（スマートウォッチなどは除く）のみ使用可。その他は試験中の使用を認めません。</li><li>● 控室および試験室では、監督者・係員の指示に従ってください。</li></ul>
問い合わせ (入試課)	電話：0466-30-0200 Eメール：ny-daigakuin@center.shonan-it.ac.jp (受付時間／月～金 8:30～16:30、土 8:30～12:30 ※日祝を除く)

## 11 合格発表・入学手続

合格発表日		合否照会期間	入学手続締切日
1期	2026年 9月 9日(水)	2026年 9月 9日(水) 12:00 ～ 9月12日(土) 23:59	1次手続：2026年 9月30日(水) 2次手続：2026年11月20日(金)
2期	2026年12月23日(水)	2026年12月23日(水) 12:00 ～12月26日(土) 23:59	2027年 3月 5日(金)



### STEP ① 事前準備について

インターネットに接続できるパソコン・タブレット・スマートフォン等		
推奨環境		
パソコン	Windows	Microsoft Edge (最新バージョン) Google Chrome (最新バージョン) Firefox (最新バージョン)
	Mac OS	Safari (最新バージョン)
タブレット スマートフォン	Android 14.0以上	Android Chrome (最新バージョン)
	iOS 17.0以上	Safari (最新バージョン)
※ JavaScript、Cookie の有効化と、Adobe Reader が必要です。		
※セキュリティソフトをインストールしている場合、正常に作動しない可能性がありますので、注意してください。セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターにお問い合わせください。		
プリンター		
自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を使用してください。		

### STEP ② 合格発表について

インターネットより合否結果を確認してください。

- [本学公式 Web サイト](#) > 受験生の方 > [合否結果照会](#) にアクセスし、ガイダンスに従い操作してください。
- 「合否結果照会」ページは合格発表日の 12:00 から 3 日間利用可能です。
- 書面での「合格通知書」は発行しません。必要に応じて合格通知書をダウンロードし、各自印刷してください。
- 電話等による合否結果の問い合わせには一切応じません。

### STEP ③・④ 入学手続きについて

インターネットより入学手続きを行ってください。

- 合格者は「合否結果照会」ページから、「[入学手続要領](#)」を必ずダウンロードしてください。入学手続きについては、「[入学手続要領](#)」にすべて記載してありますので、必ず読んでください。
  - ダウンロードした「[入学手続要領](#)」を参照し、入学手続締切日までに手続きを完了してください（一部の提出書類について、印刷する必要があります）。
  - 本システムの誤操作や見間違い等を理由に入学手続締め切り後に手続きを行うことは、一切認めません。
- ※ 職業を有する者は、別途、その長または代表者の入学承諾書を提出してください。
- ※ 一度納入された学費およびその他費用は原則返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合は、「[入学手続要領](#)」に記載されている内容に従って手続きを行ってください。

[操作方法に関する問い合わせ先](#)

入試課 電話：0466-30-0200（受付時間／月～金 8:30～16:30、土 8:30～12:30 ※日祝を除く）

## 12 入学に必要な費用

2027年度入学者用(予定)

項 目		分 納		年 額
		前期分(入学手続時)	後期分(9月)	
学 費	入 学 金	250,000円	—	250,000円
	授 業 料	435,000円	435,000円	870,000円
	施設拡充費	110,000円	110,000円	220,000円
小 計		795,000円	545,000円	1,340,000円
その他費用	学生教育研究災害傷害保険料	2,430円	—	2,430円
合 計		797,430円	545,000円	1,342,430円

1. 入学金は初年度のみ徴収します。
2. 学費は、分納（前期分・後期分の2回に分割）となります。入学手続締切日までに前期分の学費（入学金含む）とその他費用をあわせて797,430円を納入してください。年額での納入を希望する場合は、入試課まで連絡してください。
3. 学生教育研究災害傷害保険は、学生の教育研究上（課外活動を含む）の災害事故についての補償制度で、2年間適用されます（保険料の改定により金額変更となる場合があります。詳細は入学手続要領に記載します）。

## 教育研究課程 ※2026年4月現在の内容です。

### 共通科目

社会で活躍できる技術者・研究者となるためには、個々の専門分野だけでなく、大学院生としての共通的な基礎力向上と幅広い知識を持つことが必要とされる。このために専攻共通科目として、英語、データサイエンス、キャリアの各科目が準備されている。

#### 1. 英語科目

科学技術に関するアカデミックな英語基礎力の獲得を目標とする「アカデミック英語」と、国際会議や英語論文の作成などに必要な構文や文法を学び、自ら英語論文が書ける指導を行う「技術英語」が準備されている。「アカデミック英語」は必修科目であり、「技術英語」は選択科目である。

#### 2. データサイエンス科目

「データサイエンス概論」では、データサイエンス技術として、AI、データ分析・能力、ITS、情報収集技術、プログラミング方法などの基礎を学ぶ。さらに高度なデータサイエンスを学びたい学生には、特論科目「人工知能特論」が設けられている。「データサイエンス概論」は必修科目である。

#### 3. キャリア科目

学生の意識改革や対人関係能力を伸ばす方法を学ぶためのグループワーク形式の科目「コミュニケーション」と、学生の将来計画や就職支援、各研究指導科目のサポートを図る目的として、体験を通して学ぶための「エンジニアリングキャリアプランM1、M2」が設けられている。これらの3科目は必修科目である。

## 機械工学専攻

### ●教育目標

「社会に役立つ機械並びにそのシステムを開発・設計するための実践的能力を備えた専門技術者・研究者の養成」

### ●専攻の概要

機械工学は、情報工学や材料工学等の進歩と共に実現可能な技術が増え、その応用範囲を広げながら発展してきた領域である。本専攻では実社会に実践的能力を備えた専門技術者・研究者を養成するため、実社会での業務でお互いに関連の深い内容により教育研究分野を編成している。すなわち、生産工学の設計手法と製造技術に関する「設計・製造工学」、各種エネルギーと機械的エネルギーとの間の変換に関する「エネルギー変換工学」、機器の動作を連動させ、機械の目的を高度に達成する技術に関する「機械制御工学」、構造材料や機能性材料の開発や成形製法に関する「機械材料工学」および環境技術を含めた工業製品のデザインに関する「総合デザイン」の5教育研究分野から構成される。

本専攻では、これら各専門分野に関する高度な講義、討論、研究を行うと共に、博士後期課程へ進学するに値する能力を有する研究者の育成も行う。上記教育目標を実現するために、本専攻を構成する教員が自己の研究あるいは実践的体験を踏まえた教育指導を以下の構成の下で行う。

#### 1. 設計・製造工学教育研究分野

機械の目的を実現するための構造、並びに構造と関わる機械材料の物理的性質および強度とその評価法を学び、それらに関連の深い要素技術としてのトライボロジー、製作コストも含めた設計上必要な最近の製造・加工方法についての教育研究を行う。

#### 2. エネルギー変換工学教育研究分野

機械と流体および熱の間のエネルギー変換に関して、力学的基礎に基づいた機械工学技術を学ぶと共に、最近のコンピュータによる当該分野のシミュレーション技法についての教育研究を行う。

#### 3. 機械制御工学教育研究分野

機械要素間の連携を図り、機能を高度に発揮するための制御技術および、その応用としてのメカトロニクスと、環境に対する要求の高まりと共に重要性が増してきた音響・騒音・振動工学についての教育研究を行う。

#### 4. 機械材料工学教育研究分野

複合材料、金属材料等の高性能を示す機械構造材料および、高分子材料、無機材料等の高機能性材料の新規創生や、材料物性と発現機能の関連性、それらを生み出す成形製法についての教育研究を行う。

#### 5. 総合デザイン教育研究分野

工業製品の形状や色彩、素材と加工・成形方法、およびそれらを含む環境技術とそのデザイン方法について演習を取り入れながら概観し、デザインについての教育研究を行う。

## 電気情報工学専攻

### ●教育目標

「電気情報工学におけるソフトからハードまでの広い技術範囲をカバーする実践的能力を備えた専門技術者・研究者の養成」

### ●専攻の概要

電気情報工学は科学技術の発展に伴い、広範囲に発展してきた領域である。本専攻では電気情報工学におけるソフトからハードまでの広い技術範囲のうちのそれぞれの分野での実践的能力を備えた専門技術者・研究者を養成するために、基盤技術と先端技術により教育研究分野を編成している。すなわち、産業の基幹となる電力工学を中心とする「電気電子工学」、高度情報化社会の進展に対応した「情報システム基盤層」および「情報システム上位層」、さらに、材料、結晶、電子デバイス、物性学に関する「電子情報材料工学」の4教育研究分野により編成される。また、これらの基礎となる共通的な学力を養成するための教育も行う。

本専攻では、これら各専門分野に関する高度な講義、討論、研究を行うと共に、博士後期課程へ進学するに値する能力を有する研究者の育成も行う。上記教育目標を実現するために、本専攻を構成する教員が自己の研究あるいは実践的体験を踏まえた教育指導を以下の構成の下で行う。

#### 1. 電気電子工学教育研究分野

地球環境保全に対応した分散型エネルギーシステムの構築、送配電における超高圧・大電流現象の究明、さらにこれらの分野において生じる非線形制御論などについて講義および研究を行う。

#### 2. 情報システム基盤層教育研究分野

コンピュータハードウェア分野を中心に、基礎となるシステム LSI 設計および計算機構成、画像処理やその応用であるグラフィックシステム、さらには非線形系の解析設計について講義および研究を行う。

#### 3. 情報システム上位層教育研究分野

コンピュータソフトウェア分野を中心に、ソフトウェア工学、OS・ミドルウェアなどの基本ソフトウェア、Web 技術にも関連するマルチメディア処理、ニューラルネットワークなど知識情報処理、基本であるデータ処理や情報数学、そして自然言語処理、音声言語処理、さらには福祉情報工学について講義および研究を行う。

#### 4. 電子情報材料工学教育研究分野

電子デバイスの基礎となる半導体の基本的特徴から材料組成、結晶構造、界面状態、成分分布の分析法、さらに電子デバイスを用いた線形・非線形回路の解析法やシミュレーション手法などの幅広いテーマについて講義および研究を行う。

## 授業科目および単位数

### 1) 共通科目

区分	分野	科目名	配当年次	単位		学期		備考
				必修	選択	前期	後期	
共通科目	英語	アカデミック英語	1	2		○		
		技術英語	1		2		○	
	データサイエンス	データサイエンス概論	1	2		○		
	キャリア	コミュニケーション	1	2			○	
		エンジニアリングキャリアプランM1	1	2			○	
エンジニアリングキャリアプランM2		2	2			○		

### 2) 機械工学専攻科目

区分	分野	科目名	配当年次	単位		学期		備考
				必修	選択	前期	後期	
専攻専門科目	基礎科目	材料工学基礎	1		2	○		4科目から2科目4単位以上を選択必修
		エネルギー工学基礎	1		2		○	
		設計工学基礎	1		2		○	
		数値計算工学基礎	1		2	○		
	特論科目	製造工学特論	1・2		2		○	7科目から2科目4単位以上を選択必修
		材料力学特論	1・2		2		○	
		流体・伝熱工学特論	1・2		2	○		
		機械力学・ロボット工学特論	1・2		2		○	
		制御工学特論	1・2		2	○		
		生体機械工学特論	1・2		2	○		
	研究指導科目	機械工学課題研究	1	4			○	注記(4)参照のこと
		機械工学特別研究	2	6			○	

### 3) 電気情報工学専攻科目

区分	分野	科目名	配当年次	単位		学期		備考
				必修	選択	前期	後期	
専攻専門科目	基礎科目	ソフトウェア基礎	1		2	○		4科目から2科目4単位以上を選択必修
		ハードウェア基礎	1		2		○	
		情報工学基礎	1		2	○		
		情報処理応用基礎	1		2		○	
	特論科目	電力工学特論	1・2		2	○		7科目から2科目4単位以上を選択必修
		通信工学特論	1・2		2		○	
		情報制御工学特論	1・2		2		○	
		電子デバイス特論	1・2		2	○		
		電子情報材料特論	1・2		2		○	
		クラウド・量子コンピューティング特論	1・2		2	○		
	研究指導科目	人工知能特論	1・2		2	○		注記(4)参照のこと
		電気情報工学課題研究	1	4			○	
		電気情報工学特別研究	2	6			○	

#### 履修上の注意事項

- (1) 32単位以上を修得すること。
- (2) 共通科目から上記1)に定める必修科目10単位を修得すること。
- (3) 自専攻の基礎科目から2科目4単位以上を選択必修、特論科目から2科目4単位以上を選択必修として単位を修得すること。
- (4) 指導教員が担当する課題研究4単位と特別研究6単位を修得すること。
- (5) 他専攻の授業科目は、4単位を限度として履修することができる。

# 工学研究科博士後期課程の基本ポリシー

## ●ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

以下に掲げる大学院博士後期課程修了生としての能力を身につけたと判断される者に、博士（工学）の学位を授与する。

1. 専門分野において必要とされる高度な学術的知識を体系的に理解し、高度な応用が可能であり、かつ、それらを発信し教授する能力。
2. 専門分野における課題を社会的かつ学術的な見地から深く把握し、解決方法を創出する能力。
3. 社会において必要とされる幅広い教養や知識を活用し、自ら積極的に行動する能力。
4. 協調性と多面的な高い視野と見識をもって、リーダーとして計画的に研究開発を主導する能力。
5. 高度な研究を行い、その成果と知見を学術論文としてまとめ、国内外の学会や学術雑誌等で公表する能力。

上記の能力は、以下を達成したときに、身につけたものと判断する。

- a. カリキュラムにおける所定の単位を修得していること。
- b. 研究成果について、自らが主執筆者である学術論文を少なくとも2編公表していること。
- c. 博士論文を提出・公開発表し、審査の結果、合格と判定されていること。

## ●カリキュラム・ポリシー（教育課程の方針）

ディプロマ・ポリシーに定める諸能力を育成するために、以下の方針でカリキュラムを編成する。

1. 高度な授業科目を準備し、専門分野における高度かつ最先端の知識を教授するとともに、幅広い社会的教養や知識を積極的に活用できる能力を育成する。
2. 個別指導の下、専門分野における高度で社会的かつ学術的な課題を発見させ、解決方法を考案させ、学部学生や博士前期課程学生を指導させ、計画的に研究開発を遂行させる。
3. 高度な研究を行い、成果と知見を論理的に記述し学術論文にまとめ、学会等で発表・討議する能力を身につけさせる。

## ●アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

以下に掲げる大学院博士後期課程入学生としての条件を満たす者を受け入れる。

1. 社会において必要な幅広い教養や知識を有する者。
2. 志望する専門分野における高度な学力を有する者。
3. 社会に貢献できる高度な専門知識・能力と洞察力を備えた高度専門技術者または研究者となることに情熱を持つ者。

## Ⅱ. 2027年度 大学院入試 工学研究科博士後期課程

### 1 専攻および募集人員

研究科名	課程	専攻名	募集人員
工学研究科	博士後期課程	機械工学専攻 電気情報工学専攻	若干名

### 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

1. 修士の学位や専門職学位を有する者および2027年3月取得見込みの者
2. 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および2027年3月までに授与見込みの者
3. 外国の学校が行う通信教育を日本国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および2027年3月までに授与見込みの者
4. 日本国において、外国の大学院相当として文部科学大臣が指定した外国の学校の課程を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および2027年3月までに授与見込みの者
5. 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者および2027年3月までに授与見込みの者
6. 大学等を卒業し、大学、研究所等にて2年以上研究に従事した者で、本大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者
7. 本大学院において、個別の入学資格審査により認められた24歳以上の者

#### 出願資格 6 および 7 について

出願資格 6 および 7 での出願を希望する者は、別途、認定審査を行います。

出願資格認定申請書 **認定-1** **認定-2** を、指導教員面談申込期間内に指導教員面談申込書等とともに提出してください（提出書類については、「5 指導教員面談申し込みについて（▶ P. 14）」を参照）。

#### 1. 認定基準

次の①または②の要件を満たす者

- ① 大学卒業後、各種の教育機関または研究機関や企業等で、2年以上研究に従事している者であること（出願資格 7 の場合、学歴に関する要件を問いません）
- ② 著書、学術論文、学術講演、研究報告、特許等において、修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者であること

#### 2. 認定手続き

本大学院において、書類審査の上、認定しますが、必要に応じて口頭試問や筆記試験を行う場合があります。

#### 職業を有する者について

職業を有する者で、入学後も在籍する場合は、課程修了まで出向、休職またはそれに準じた取り扱いにより、勤務先からの派遣が可能である者に限ります。

### 3 入試日程

	指導教員面談申込期間 (消印有効)	指導教員面談 実施期間	出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日
1期	2026年 6月 22日(月) ～ 7月 10日(金)	2026年 7月13日(月) ～ 7月17日(金)	2026年 7月20日(月) ～ 7月24日(金)	2026年 9月 5日(土)	2026年 9月 9日(水)
2期	2026年11月 9日(月) ～11月27日(金)	2026年11月30日(月) ～ 12月 4日(金)	2026年12月 7日(月) ～ 12月11日(金)	2026年12月19日(土)	2026年12月23日(水)

※指導教員面談は必ずしも希望の日時で実施できるとは限りません。日程には余裕を持って申し込みをしてください。

## 4 選抜方法

書類審査と面接（プレゼンテーション含む）の評価を総合して選抜します。

面接 (プレゼンテーション含む)	<p><b>PowerPointを使用して行うこと。</b></p> <p>PowerPointにて20分程度、修士論文または研究業績の内容、研究計画について説明。その後、質疑応答を行います。また、志望する研究分野に関する専門科目（専門的学力）についての口頭試問を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 博士前期課程修了後、出願までに3年以上経過した者の場合、上記に加え、その間の研究活動についての口頭試問を行います。</li> <li>● 外国人留学生の場合、上記に加え、日本語能力についての口頭試問を行います。</li> </ul>
---------------------	---

## 5 指導教員面談申し込みについて

志願者が希望する研究内容の受け入れ可否を確認するため、受入指導教員との事前面談が必要です。

事前面談の結果、受け入れ可能と判断された者のみが出願できます（あくまで出願許可であり、合格が約束されたものではありません）。

指導教員面談申込期間内（消印有効）に下記の提出書類を市販の角2封筒に封入し、郵便局窓口から簡易書留速達で郵送してください。

面談日は決定次第、入試課から連絡します（希望に添えない場合がありますので、予めご了承ください）。

### 提出書類

証明書などの発行日は、申し込みの6か月以内の発行のものに限ります。

所定の用紙については、「7 提出書類のダウンロードについて（▶ P.16）」を参照してください。

指導教員面談申込書	本学所定の用紙 <a href="#">面談-1</a>
卒業論文・修士論文の概要	本学所定の用紙 <a href="#">面談-2</a> ただし、出願資格7での出願を希望する者は提出不要です。
最終大学院 修了(見込み)証明書	出身大学等が発行し、厳封したもの。 ただし、出願資格6での出願を希望する者は出身大学等の卒業証明書を提出してください。出願資格7での出願を希望する者は提出不要です。
成績証明書	出身大学等が発行し、厳封した、学部および博士前期課程の成績証明書。 ただし、出願資格7での出願を希望する者は提出不要です。
出願資格認定申請書	本学所定の用紙 <a href="#">認定-1</a> <a href="#">認定-2</a> 出願資格6および7での出願を希望する者のみ提出してください。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本語または英語以外で作成されたものは、必ず公的機関または日本語学校等が証明する日本語訳か英語訳を添付してください。それ以外の者が翻訳する場合は、住所・氏名・本人との関係を記入し、押印して提出してください。本人による翻訳は出願書類として認めません。</li> <li>● 提出書類に不備がある場合は受け付けません。また、提出書類は一切返却しません。</li> </ul>
宛名シート	必要事項を記入の上、角2封筒に貼り付けてください。

受入指導教員との事前面談後、出願の可否を記した「出願資格認定通知書」を本学から発行・郵送します。

「出願資格認定通知書（提出用）」は出願に必要となります。出願書類については、「6 出願書類（▶ P.15）」を参照してください。

## 6 出願書類

所定の用紙については、「7 提出書類のダウンロードについて (▶ P.16)」を参照してください。

1	受験票	本学所定の用紙 <b>A票</b> 検定料収納印のないものは受けません。
2	写真票	本学所定の用紙 <b>B票</b> 検定料収納印のないものは受けません。
3	志願票	本学所定の用紙 <b>D-②票</b> ( <b>D-②票(2)</b> は外国人留学生のみ)
4	写真 (2枚)	縦4cm、横3cm、上半身正面脱帽、背景なしで、出願の3カ月以内に撮影したものを <b>写真票および志願票</b> に貼り付けてください (裏面に氏名記入のこと。シール状の場合は記入不要)。
5	出願資格認定通知書 (提出用)	指導教員との面談後に本学が発行・郵送した書類。
6	志望理由書	書式は任意 (書状の形式でよい、A4サイズ) 志望動機 (勉学・研究を行う理由・目的)、抱負。外国人留学生の場合は、更に、日本への留学を志した動機等も含む (必ず日本語で記すこと)。
7	入学志願者所見	本学所定の用紙 <b>F票</b> 出身大学等の指導教員が作成し、厳封したもの。 ただし、出願資格6および7に該当する者は別途案内します。
8	出願同意書	本学所定の用紙 <b>G票</b> 職業を有する者で、入学後も在職する場合は提出してください。
9	修士論文	修士論文またはそれに代わる論文 (1部) 博士前期課程修了後、出願時まで3年以上経過した者は、その間の「研究活動報告書 (書式は任意、A4サイズ)」も添付してください。 ただし、出願資格6および7に該当する者は「研究業績の要約 (書式は任意、A4サイズで1,000文字程度に要約した概要)」をもって読み替えます。
10	研究 (希望) 計画書	本学指定の用紙 <b>H票</b> 博士後期課程における研究 (希望) 計画書。作成に当たっては、志望する指導教員に問い合わせてください。
11	研究業績調書	本学所定の用紙 <b>I票</b> 可能な場合は別刷を添付してください。ただし、出願資格6および7に該当する者は、 <u>出願資格認定審査時に提出済みのため不要です。</u>
12	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在、他の大学院に在籍中の者は、受験許可書を提出してください。</li> <li>● 外国人留学生は下記の書類も提出してください。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 出願の6カ月以内に、市区町村が発行した住民票 (「国籍」「在留資格」「在留期間等」「在留カード等の番号」「在留期間の満了の日」が記載されている原本)。なお、「個人番号 (マイナンバー)」は不要です。</li> <li>② 現在、日本国内の教育機関 (日本語学校や専門学校等) に在籍している者は、その教育機関の成績証明書および出席状況証明書。在籍していない者は、<u>出願前に必ず入試課まで連絡してください。</u> (在留資格が「永住者」「定住者」「家族滞在」は除く)</li> <li>③ 日本語能力が証明できる書類 (日本語能力試験の結果等) は任意です。</li> </ol> </li> <li>● 日本語または英語以外で作成されたものは、必ず公的機関または日本語学校等が証明する日本語訳か英語訳を添付してください。それ以外の者が翻訳する場合は、住所・氏名・本人との関係を記入し、押印して提出してください。<u>本人による翻訳は出願書類として認めません。</u></li> <li>● 出願時、日本国外に在住の者は出願にあたり、下記の条件が加わります。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 前期のみ出願可能。</li> <li>② 検定料は日本国内からの振り込みのみ有効。</li> <li>③ 出願時にパスポートのコピー (記載のあるすべてのページ) を提出してください。</li> </ol> </li> </ul>
13	宛名シート	必要事項を記入の上、角2封筒に貼り付けてください。

※ 最終大学院修了 (見込み) 証明書、成績証明書、修士論文の概要: 指導教員面談申込時に提出済みのため不要です。

## 7 提出書類のダウンロードについて

2027年度大学院入試で使用する提出書類（本学所定の用紙）は下記の方法でダウンロードしてください。

### ◎博士後期課程：一般入試（学外）

本学公式 Web サイト > 入試情報 > 大学院入試 > 入試日程／博士後期課程

【URL】 <https://www.shonan-it.ac.jp/examination/graduate-school>

#### 注意事項

- ページの拡大・縮小・両面印刷は行わずに、A4サイズで印刷してください。
- 所定の用紙は、すべて黒のボールペン（消せるボールペンは不可）で記入してください。
- 間違えた場合は二重線を引いて訂正印を押し、正しい内容を余白に記入してください。修正液、修正テープは使用しないでください。
- その他、各用紙に記載の注意事項をよく読み、間違いのないよう記入してください。

## 8 出願にあたっての注意事項

- 出願書類に不備がある場合は受け付けません。また、修士論文を除く出願書類は一切返却しません（修士論文は試験終了後に返却します）。
- 出願許可書に記載の志望専攻および指導教員以外への出願はできません。
- 出願書類に虚偽があった場合、合格を取り消すことがあります。
- 出願書類は市販の角2封筒に封入し、必ず郵便局窓口から簡易書留速達で郵送してください。
- 疾病・負傷や身体の障がい等により、受験および修学に際して特別な配慮を必要とする方は、出題2週間前までに必ず入試課へ相談してください。別途「受験上の配慮申請」等の提出が必要となりますので、本学公式Webサイト「受験及び修学上の配慮について」を参照してください。申請内容に基づき、障がいや疾病の程度に応じた措置を講じます。ただし、すべての希望に対応できるとは限りません。

本学公式 Web サイト > 入試情報 > 受験および修学上の配慮について

【URL】 <https://www.shonan-it.ac.jp/examination/faculty/support>

## 9 検定料 30,000 円 ※納入した検定料は理由のいかんを問わず返還しません。

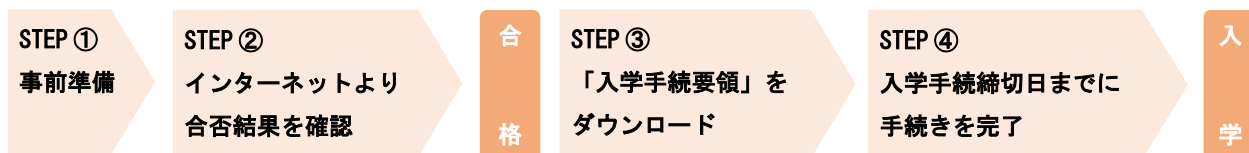
必ず本学所定の写真票 **A票**、振込金受領書 **B票**、振込依頼書 **C票** を使用し、金融機関窓口から振り込んでください（A・B・C票は切り離さず金融機関へ持参してください）。検定料振り込み後、A・B票の「取扱金融機関収納印」欄に収納印が押されていることを確認し、A票を提出してください。B票は本人保存用のため、提出の必要はありません。

## 10 受験について

受験票	<ul style="list-style-type: none"><li>● 出願書類受け付け後、志願者に「受験票」を送付します。</li><li>● 試験前日までに受験票が届かない場合は、必ず入試課に連絡してください。</li><li>● 試験当日は受験票を持参してください。受験票を紛失した場合は、試験開始前に受付に申し出て「仮受験票」の交付を受けてください。</li><li>● 受験票は合格発表等で必要となる場合がありますので、大切に保管してください。</li></ul>
試験時間	● 面接／9:00～（学外1期・2期）
試験会場 (集合時間)	湘南工科大学 ● 試験当日、正門の掲示を確認し、面接開始の10分前までに面接控室に集合してください。 ※ 面接控室は、試験当日、正門の掲示を確認してください。
持参する物	● 受験票、プレゼンテーション時に使用するノートパソコンおよびPowerPointのデータ ※ プレゼンテーションは自身のノートパソコンを使用してください。やむを得ず用意ができない場合は出願時に入試課まで申し出てください。試験当日はPowerPointのデータが入ったUSBメモリーを持参してください。プロジェクター、スクリーン、ケーブル（HDMI端子）は本学で用意します。
注意事項	● 控室および試験室では、監督者・係員の指示に従ってください。
問い合わせ (入試課)	電話：0466-30-0200 Eメール：ny-daigakuin@center.shonan-it.ac.jp (受付時間／月～金 8:30～16:30、土 8:30～12:30 ※日祝を除く)

## 11 合格発表・入学手続

	合格発表日	合否照会期間	入学手続締切日
1期	2026年 9月 9日(水)	2026年 9月 9日(水) 12:00 ～ 9月12日(土) 23:59	1次手続：2026年 9月30日(水) 2次手続：2026年11月20日(金)
2期	2026年12月23日(水)	2026年12月23日(水) 12:00 ～12月26日(土) 23:59	2027年 3月 5日(金)



### STEP ① 事前準備について

インターネットに接続できるパソコン・タブレット・スマートフォン等		
推奨環境		
パソコン	Windows	Microsoft Edge (最新バージョン) Google Chrome (最新バージョン) Firefox (最新バージョン)
	Mac OS	Safari (最新バージョン)
タブレット スマートフォン	Android 14.0以上	Android Chrome (最新バージョン)
	iOS 17.0以上	Safari (最新バージョン)
※JavaScript、Cookieの有効化と、Adobe Readerが必要です。		
※セキュリティソフトをインストールしている場合、正常に作動しない可能性がありますので、注意してください。 セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターにお問い合わせください。		
プリンター		
自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を使用してください。		

### STEP ② 合格発表について

インターネットより合否結果を確認してください。

- [本学公式Webサイト](#)>受験生の方>合否結果照会 にアクセスし、ガイダンスに従い操作してください。
- 「合否結果照会」ページは合格発表日の12:00から3日間利用可能です。
- 書面での「合格通知書」は発行しません。必要に応じて合格通知書をダウンロードし、各自印刷してください。
- 電話等による合否結果の問い合わせには一切応じません。

### STEP ③・④ 入学手続きについて

インターネットより入学手続きを行ってください。

- 合格者は「合否結果照会」ページから、「入学手続要領」を必ずダウンロードしてください。入学手続きについては、「入学手続要領」にすべて記載してありますので、必ず読んでください。
  - ダウンロードした「入学手続要領」を参照し、入学手続締切日までに手続きを完了してください(一部の提出書類について、印刷する必要があります)。
  - 本システムの誤操作や見間違い等を理由に入学手続締め切り後に手続きを行うことは、一切認めません。
- ※ 職業を有する者は、別途、その長または代表者の入学承諾書を提出してください。
- ※ 一度納入された学費およびその他費用は原則返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合は、「入学手続要領」に記載されている内容に従って手続きを行ってください。

操作方法に関する問い合わせ先

入試課 電話：0466-30-0200 (受付時間/月～金 8:30～16:30、土 8:30～12:30 ※日祝を除く)

## 12 入学に必要な費用

2027年度入学者用(予定)

項 目		分 納		年 額
		前期分(入学手続時)	後期分(9月)	
学費	入 学 金	250,000円	—	250,000円
	授 業 料	435,000円	435,000円	870,000円
	施設拡充費	110,000円	110,000円	220,000円
小 計		795,000円	545,000円	1,340,000円
その他費用	学生教育研究災害傷害保険料	3,620円	—	3,620円
合 計		798,620円	545,000円	1,343,620円

1. 入学金は初年度のみ徴収します。
2. 学費は、分納（前期分・後期分の2回に分割）となります。入学手続締切日までに前期分の学費（入学金含む）とその他費用をあわせて798,620円を納入してください。年額での納入を希望する場合は、入試課まで連絡してください。
3. 学生教育研究災害傷害保険は、学生の教育研究上（課外活動を含む）の災害事故についての補償制度で、3年間適用されます（保険料の改定により金額変更となる場合があります。詳細は入学手続要領に記載します）。

## 教育研究課程 ※2026年4月現在の内容です。

### 共通科目

社会で活躍できる技術者・研究者となるためには、個々の専門分野だけでなく、大学院生としての共通的な基礎力向上と幅広い知識を持つことが必要とされる。このために専攻共通科目として、キャリア科目が準備されている。

#### 1. キャリア科目

前期課程に学んだキャリア科目の内容を継続し、工学技術者・研究者を目指す将来計画や就職支援を図る目的として「エンジニアリングキャリアプラン D1 ～ D3」が設けられている。大学院学生とのグループワークを通してより高度な意識改革や対人関係能力を伸ばすと共に、高学年では学術的知識を教授する能力や見識をもって学生を指導する能力を養い、教育職を意識した実践能力を高めることを目指す。「エンジニアリングキャリアプラン D1 ～ D3」は通年の必修科目である。

## 機械工学専攻

### ●教育目標

「機械技術関連分野において的確な目標設定が行え、さらに新規技術の開発目標を達成できる能力を備えた高度専門的職業人の養成」

### ●専攻の概要

機械工学は、情報工学や材料工学等の進歩と共に実現可能な技術が増え、その応用範囲を広げながら発展してきた領域である。本専攻では実社会の技術課題の問題点を的確に把握し、解決方法を見出す能力を備えた高度専門的職業人を養成するために、基盤技術と先端技術により教育研究分野を編成している。すなわち、生産工学の設計手法と製造技術をまとめた「設計・製造工学」、各種エネルギーと機械的エネルギーとの間に関する「エネルギー変換工学」、機器の動作を連動させ、機械の目的を高度に達成するための「機械制御工学」、構造材料や機能性材料、整形製法の開発に関する「機械材料工学」および工業製品のデザインに関する「総合デザイン」の5教育研究分野から構成される。本専攻では、社会の状況や環境に応じて、機械技術を用いた社会に役立つための的確な目標設定を行うことができると共に上記の教育目標を達成できる能力を持つ職業人を高度な研究活動を通して養成する。それぞれの教育研究分野の具体的内容は以下のとおりである。

#### 1. 設計・製造工学教育研究分野

機械の目的を実現するための構造、並びに構造と関わる機械材料の物理的性質および強度とその評価法を学び、それらに関連の深い要素技術としてのトライボロジー、製作コストも含めた設計上必要な最近の製造・加工方法についての教育研究を行う。

#### 2. エネルギー変換工学教育研究分野

機械と流体および熱の間のエネルギー変換に関して、力学的基礎に基づいた機械工学技術を学ぶと共に、最近のコンピュータによる当該分野のシミュレーション技法についての教育研究を行う。

#### 3. 機械制御工学教育研究分野

機械要素間の連携を図り、機能を高度に発揮するための制御技術および、その応用としてのメカトロニクスと、環境に対する要求の高まりと共に重要性が増してきた音響・騒音・振動工学についての教育研究を行う。

#### 4. 機械材料工学教育研究分野

複合材料、金属材料等の高性能を示す機械構造材料および、高分子材料、無機材料等の高機能性材料の新規創生や、材料物性と発現機能の関連性、それらを生み出す成形製法についての教育研究を行う。

#### 5. 総合デザイン教育研究分野

工業製品の形状や色彩、素材と加工・成形方法、およびそれらを含む環境技術とそのデザイン方法について演習を取り入れながら概観し、デザインについての教育研究を行う。

以上の科目に加え、各分野に共通する科目として、学位論文を指導する機械工学特殊研究および産業界との密接な連携を重視し、内外関連企業の現場における高度先端技術の研究開発の現状、今後の展開を予見するための科目として、機械工学学外特殊演習を設けている。

## 電気情報工学専攻

### ●教育目標

「電気情報分野において的確な目標設定が行え、さらに新技術の開発目標を達成できる能力を備えた高度専門的職業人の養成」

### ●専攻の概要

電気情報工学は科学技術の発展に伴い、広範囲に発展してきた領域である。本専攻では実社会の技術課題の問題点を的確に把握し、解決方法を見出す能力を備えた高度専門的職業人を養成するために、基盤技術と先端技術により教育研究分野を編成している。すなわち、産業の基幹となる「電気電子工学」、高度情報化社会の進展に対応した「情報システム基盤層」および「情報システム上位層」、さらに、材料、回路、物性学に関する「電子情報材料工学」の4教育研究分野により編成される。

本専攻では、これら各専門分野に関する高度な講義、討論、研究を行うと共に、上記教育目標を達成することができる能力を持つ職業人を、高度な研究活動を通して養成する。それぞれの教育研究分野の具体的内容は以下のとおりである。

#### 1. 電気電子工学教育研究分野

従来環境と共存できる分散型エネルギーシステムの構築、超高圧・大電流現象の究明、さらにこれらの分野において生じる非線形制御論などについて講義および研究を行う。

#### 2. 情報システム基盤層教育研究分野

コンピュータハードウェア分野を中心に、システムLSI設計、画像処理、グラフィックシステム、非線形情報処理について講義および研究を行う。

#### 3. 情報システム上位層教育研究分野

コンピュータソフトウェア分野を中心に、OS・ミドルウェアなど基本ソフトウェア、ソフトウェア工学、また自然言語処理、音声言語処理などの知識工学について講義および研究を行う。

#### 4. 電子情報材料工学教育研究分野

電子デバイスの基礎となる半導体の基本的特徴から材料組成、結晶構造、界面状態、成分分布の分析法、さらに電子デバイスを用いた線形・非線形回路の解析法やシミュレーション手法などの幅広いテーマについて講義および研究を行う。

以上の科目に加え、各分野に共通する科目として、学位論文を指導する電気情報工学特殊研究および産業界との密接な連携を重視し、内外関連企業の現場における高度先端技術の研究開発の現状、今後の展開を予見するための科目として、電気情報工学学外特殊演習を設けてある。

## 授業科目および単位数

### 1) 共通科目

区分	分野	科目名	配当年次	単位		学期		備考
				必修	選択	前期	後期	
共通科目	キャリア	エンジニアリングキャリアプランD1	1	2		○		
		エンジニアリングキャリアプランD2	2	2		○		
		エンジニアリングキャリアプランD3	3	2		○		

### 2) 機械工学専攻科目

区分	分野	科目名	配当年次	単位		学期		備考
				必修	選択	前期	後期	
専攻専門科目	設計・製造工学	設計・製造工学特殊講義A	1・2・3		2	○		
		設計・製造工学特殊講義B	1・2・3		2		○	
	エネルギー変換工学	エネルギー変換工学特殊講義A	1・2・3		2	○		
		エネルギー変換工学特殊講義B	1・2・3		2		○	
	機械制御工学	機械制御工学特殊講義A	1・2・3		2	○		
		機械制御工学特殊講義B	1・2・3		2		○	
	機械材料工学	機械材料工学特殊講義A	1・2・3		2	○		
		機械材料工学特殊講義B	1・2・3		2		○	
	研究指導科目	機械工学特殊研究	1～3	8			○	
		機械工学学外特殊演習	1・2・3		2	(○)	(○)	いずれの学期でも履修可能

### 3) 電気情報工学専攻科目

区分	分野	科目名	配当年次	単位		学期		備考
				必修	選択	前期	後期	
専攻専門科目	電気電子工学	電気電子工学特殊講義A	1・2・3		2	○		
		電気電子工学特殊講義B	1・2・3		2		○	
	情報システム基盤層	情報システム基盤層特殊講義A	1・2・3		2	○		
		情報システム基盤層特殊講義B	1・2・3		2		○	
	情報システム上位層	情報システム上位層特殊講義A	1・2・3		2	○		
		情報システム上位層特殊講義B	1・2・3		2		○	
	電子情報材料工学	電子情報材料工学特殊講義A	1・2・3		2	○		
		電子情報材料工学特殊講義B	1・2・3		2		○	
	研究指導科目	電気情報工学特殊研究	1～3	8			○	
		電気情報工学学外特殊演習	1・2・3		2	(○)	(○)	いずれの学期でも履修可能

#### 履修上の注意事項

- (1) 18単位以上を修得すること。
- (2) 共通科目から上記1)に定める必修科目6単位を修得すること。
- (3) 自専攻の選択科目から2科目4単位以上を修得すること。
- (4) 指導教員が担当する特殊研究8単位を修得すること。
- (5) 他専攻の授業科目も履修できる。

# ACCESS



## 辻堂駅周辺地図



## 主要駅から辻堂駅までの所要時間

<b>東京駅</b> 約50分 上野東京ライン JR東海道線	<b>横浜駅</b> 約23分 JR東海道線	<b>藤沢駅</b> JT08	<b>辻堂駅</b> JT09	徒歩 約15分
<b>羽田空港</b> 第1・第2ターミナル駅 約60分 京浜急行電鉄線	<b>町田駅</b> 約35分 湘南新宿ライン 小田急小田原線・江ノ島線	<b>藤沢駅</b> OE13	バス 約5分	<b>湘南工科大学</b> バス 約11分
<b>新宿駅</b> 約60分 上野東京ライン JR東海道線	<b>小田原駅</b> 約27分			
<b>熱海駅</b> 約50分				

### 辻堂駅からのアクセス

JR東海道線「辻堂駅」東改札南口から

- 徒歩約15分
- バス約5分「浜見山降車場」または「浜見山」下車  
・ 2番のりば「鶴沼車庫前」行

### 藤沢駅からのアクセス

JR東海道線・小田急江ノ島線・江ノ島電鉄線「藤沢駅」北口から

- バス約11分「浜見山」下車  
・ 2番のりば「辻堂団地」行

大学院



〒251-8511 神奈川県藤沢市辻堂西海岸1-1-25

[入試課] TEL: 0466-30-0200 FAX: 0466-34-4022

<https://www.shonan-it.ac.jp>